

第1回 県立高等学校改革懇談会 『喜多方・喜多方東』

日時：平成31年 4月23日（火） 13：30～15：00
場所：喜多方高等学校 桜壇会館 多目的ホール

福島県教育委員会

本日の進め方

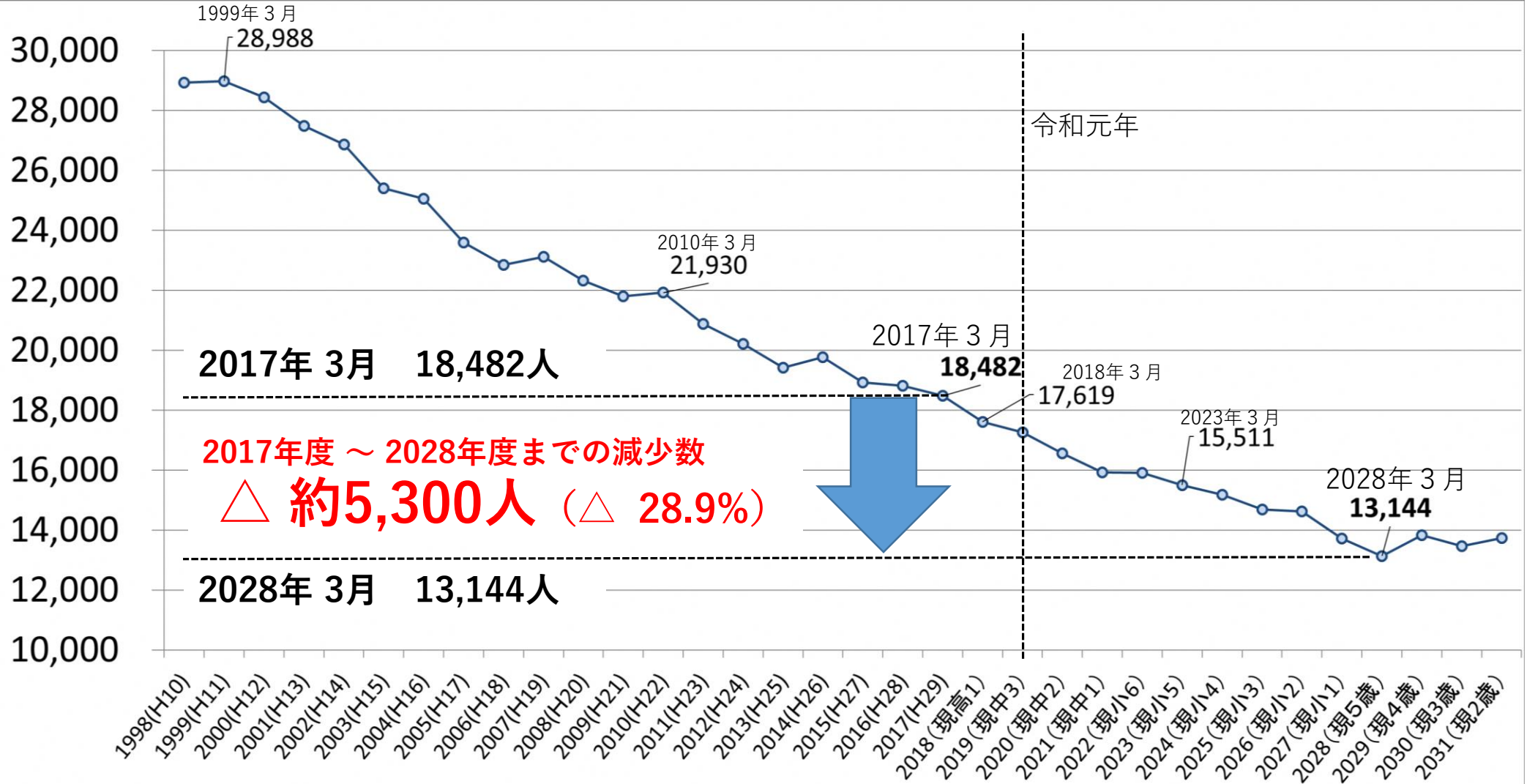
1	県立高等学校前期実施計画策定の経緯
2	喜多方高校・喜多方東高校の現在の状況
3	今後の再編整備について

1

県立高等学校前期実施計画策定の経緯

少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

中学校卒業（見込）者数の推移（人）

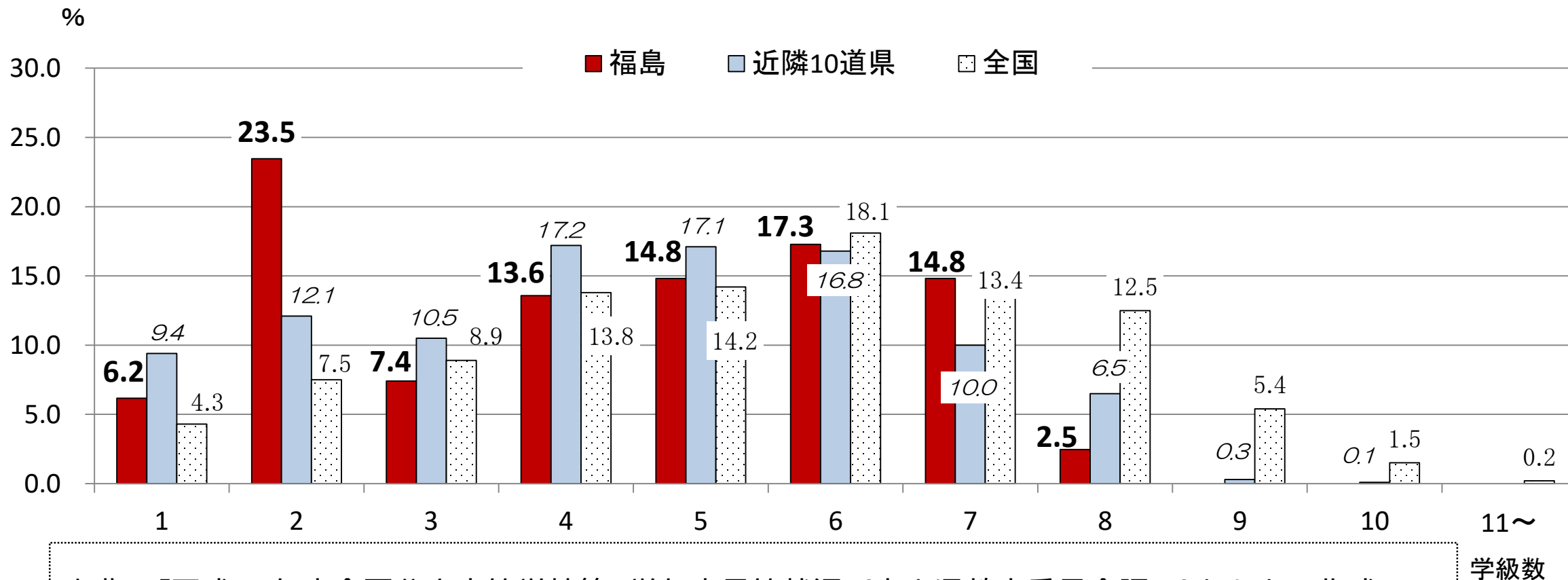


出典：2017年（平成29年）までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。
 2018年（平成30年）3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。
 2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口」（2017年4月1日現在）の各年齢別のデータをもとに作成。

（年3月卒業）

県立高等学校の小規模校化

1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



出典・「平成30年度全国公立高等学校第1学年定員等状況」(富山県教育委員会調べ)をもとに作成。
分校を含む2018年度（平成30年度）都道府県立高等学校全日課程の募集定員。近隣10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き

本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・**少子化のさらなる進行**（中学校卒業予定者が10年間で約5,300名減少）
- 過疎化・高齡化（地域コミュニティの維持が課題）
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化（例：主権者教育の重要性、大学入学共通テストの導入）
- 高等学校の小規模化（3学級規模以下の高校の増加）
- 生徒の**学習ニーズの多様化**（学ぶ意欲や目的意識、興味、関心、進路指導の多様化）
- **東日本大震災と原子力災害からの復興・再生**
（本県の復興に携わりたいという思いの芽生え、福島イノベーション・コースト構想の推進）



高等学校改革の必要性

県立高等学校改革計画「**第一次まとめ**」(平成9年)・「**第二次まとめ**」(平成11年)

福島県学校教育審議会 2017年(平成29年度) 答申
「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」



県立高等学校改革基本計画の策定 2018年 5月
(2019年度～2028年度) 10年間

県立高等学校改革**前期**実施計画 (2019年度～2023年度) 5年間

県立高等学校改革**後期**実施計画 (2024年度～2028年度) 5年間

県立高等学校改革の基本方針

基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること」

【4つの基本方針】

基本方針 1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む
高等学校教育の推進

基本方針 2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

基本方針 3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化

基本方針 4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の向上

再編整備・魅力化の基本的な考え方①


- **学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模（1学年4～6学級）**
1学年3学級以下の高等学校については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて統合を推進

- **望ましい学校規模への再編整備の推進**
同一市町内や隣接する市町にある複数の学校のいずれかもしくは双方の学校が望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進
望ましい学校規模の中で可能となる魅力化の推進

再編整備・魅力化の基本的な考え方②

- 進路に応じた特色ある高等学校の配置
- 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- 学校の特色化と情報発信

6つの学校群



進学指導拠点校
進学指導重点校
キャリア指導推進校
職業教育推進校
地域協働推進校
定時制・通信制高校

小規模校のメリット・デメリット

【メリット】

- 学校がある地域の生徒が、負担なく通学できる。
- 小規模校ならではの、きめ細かな指導が可能である。

【デメリット】

- 生徒どうしが、切磋琢磨しながら社会性や向上心を育むことが難しい。
- 学級数減に伴う教職員数の減少により、多様な科目選択や部活動など学校の教育活動が制限される。

再編整備（統合）による効果

- 一定の集団規模を確保した望ましい学校規模の中で、生徒同士が切磋琢磨しながら社会性を養い、人間性を育むとともに探究的な学びや他学科との学びの連携などの新たな取組をとおしてより深い学びが実践できる。
- 望ましい学校規模とすることによって、教員数が確保され、多様な選択科目や部活動からの選択が可能となる。

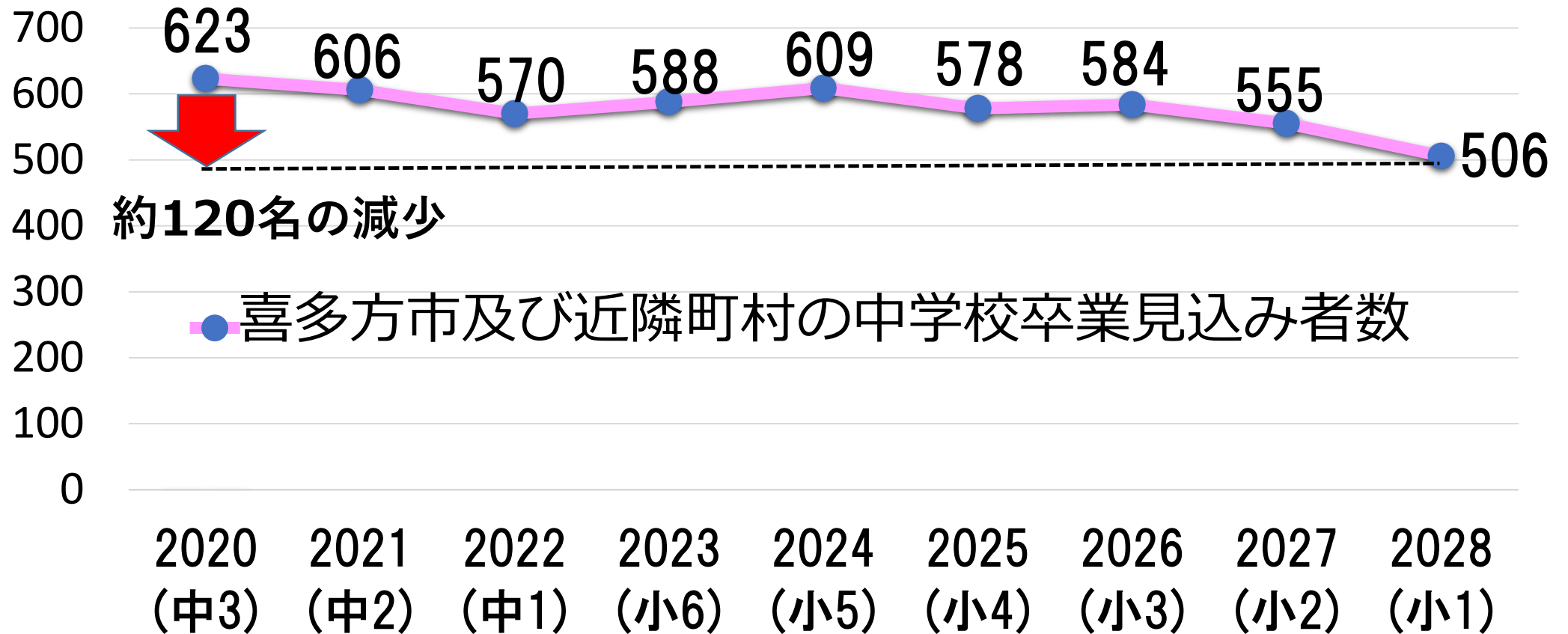
2

喜多方高校・喜多方東高校の現在の状況

少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

喜多方市及び喜多方高校、喜多方東高校に入学者の多い近隣市町村の中学校卒業見込者数の推移

（近隣市町村：会津坂下町、西会津町、北塩原村、湯川村）



学校の沿革概要等

喜多方高校

○ 沿革（創立100周年）

- 大正 7年 4月 福島県立喜多方中学校 創立
- 昭和23年 3月 福島県立喜多方高等学校となる
- 平成20年 9月 創立90周年記念式典挙行
- 平成30年10月 創立100周年記念式典挙行

○ 設置学科（平成30年度現在）

全日制 普通科 1 学年 4 学級 計 1 2 学級

○ 面積

①校地 **46,095**m²

(建物敷地 25,368m² + 運動場 20,727m²)

②校舎等 **10,604**m²

喜多方東高校

○ 沿革（創立90周年）

- 昭和 3年 4月 喜多方高等女学校開校
- 昭和23年 4月 町立耶麻高等女学校を合併し
福島県立喜多方女子高等学校と改称
- 平成12年 4月 福島県立喜多方東高等学校と改称
(男女共学化)
- 平成30年10月 創立90周年記念式典挙行

○ 設置学科（平成30年度現在）

全日制 普通科 1 学年 2 学級 計 6 学級

○ 面積

①校地 **32,316**m²

(建物敷地 11,789m² + 運動場20,527m²)

②校舎等 **9,402**m²

進路状況（過去3年間）

学校要覧より

【喜多方高校】

進路先	大学	短大	専門学校	その他	就職	合計
卒業年度						
29	78	26	38	4	6	152
28	98	15	43	9	8	173
27	95	12	38	9	7	161

【喜多方東高校】

進路先	大学	短大	専門学校	その他	就職	合計
卒業年度						
29	6	13	35	5	43	102
28	8	12	46	0	48	114
27	7	7	46	1	32	93

部活動

【喜多方高校】

・運動部

野球 バドミントン
サッカー ボート 弓道
バレーボール 剣道 陸上競技
ソフトテニス 卓球
バスケットボール

・文化部

自然科学 美術 合唱 調理
インターアクト
(吹奏楽委員会、放送委員会)

【喜多方東高校】

・運動部

卓球 陸上競技 バレーボール
ソフトボール ソフトテニス
バスケットボール
バドミントン サッカー
ボート

・文化部

書道 演劇 音楽 華道
(家庭クラブ)

入学状況

喜多方高校

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
募集定員	240					200				160				
入学者数	239	240	239	239	240	200	199	164	183	157	133	160	135	127
充足率	99.6%	100%	99.6%	99.6%	100%	100%	100%	82.0%	91.5%	98.1%	83.1%	100%	84.4%	79.4%

喜多方東高校

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
募集定員	200		160					120				80			
入学者数	200	199	159	153	155	156	143	105	120	108	114	79	44	76	
充足率	100%	99.5%	99.4%	95.6%	96.9%	97.5%	89.4%	87.5%	100%	90.0%	95.0%	98.8%	55.0%	95.0%	

平成30年度喜多方市及び近隣市町村

中学校卒業者の高校進学先

	卒業者 数	進学者 数	喜多方	喜多方 東	喜多方 桐桜	農業 耶麻	(普通系) 若松市内 県立	(専門系) 若松市内 県立	その他 公立	若松市内 私立	その他 私立
喜一	96	91	27	12	19	4	16	5	3	4	0
喜二	108	94	35	5	26	7	9	4	1	6	0
喜三	76	74	23	11	19	4	7	1	1	5	0
会北	15	14	4	2	3	1	2	1	1	0	0
塩川	87	83	14	1	27	2	14	11	7	6	0
山都	18	16	1	0	5	3	3	1	2	1	0
高郷	10	10	3	0	1	0	4	1	0	1	0
西会津	43	40	12	1	8	1	7	1	3	5	2
北塩原一	15	15	3	5	3	0	2	0	1	1	0
湯川	34	34	1	1	4	1	14	4	1	6	2
河東	67	63	0	5	8	1	19	13	8	9	0
坂下	165	155	7	0	19	3	39	17	51	16	3
計	734	689	130	43	142	27	136	59	79	60	7
進学者に対する 割合(%)			18.9%	6.2%	20.6%	3.9%	19.7%	8.6%	11.5%	8.7%	1.0%

3

今後の再編整備について

統合校の方向性

喜多方高校

○ 普通科(定員160名：4学級)
進学指導中心

喜多方東高校

○ 普通科(定員80名：2学級)
就職4：専門4：大・短2

2021年4月開校予定
喜多方・喜多方東統合校（仮称）

5学級規模（定員200名） **場所：喜多方高校**

統合校のイメージ

喜多方・喜多方東統合校（仮）

地域の未来を担う人材を育成
「喜多方で生まれ育った生徒を喜多方で育てる」

進学指導重点校

- 授業の質の向上と進学指導の充実を図り、生徒の進路希望を実現するため、「進学指導重点校」に指定（県内16校）
- 各分野のリーダーとして活躍し、地域の発展に貢献できる人材を育成

丁寧な学習指導と進路指導

- 両校における教育活動を継承し、生徒一人一人の学習ニーズに応える丁寧な学習指導と進路指導により、多様な進路希望を実現として活躍し、地域の発展に貢献できる人材を育成

地域との連携

- 地元の関係機関との連携のもと、地域の発展に貢献できる人材を育成

検討する統合校の特色化

丁寧な進路指導

単位制の導入

進学指導拠点校（福島・安積・会津・磐城）
で導入を予定

主体的・対話的で
深い学びの実現

地域をフィールドとし
た探究的な学びの導入

特色あるコースの設置

今後の予定

会議等のスケジュール

第2回改革懇談会 5月下旬以降

第3回改革懇談会 7月以降
(以後、必要に応じて開催)

今後必要となる組織

改革懇談会でいただいた御意見を具現化するための組織

- 教育内容検討委員会 (両校の教職員で構成される検討委員会)
- ワーキンググループ (各校の校内検討委員会)